

地理歴史科（日本史B）学 習 指 導 案

授業者 石渡雄大

1 日 時 令和4年11月11日(金) 2校時

2 場 所 2年2組 39名

3 単 元 名 5章 1節 室町幕府の成立

4 単 元 目 標

時代の転換に着目し、中世の特色について、武家政権の変容、産業の発達、村落や都市の自立、東アジアの情勢などと関連付け、多面的・多角的に考察できるようになる。

5 評 価 基 準

a) 関心・意欲・態度	b) 思考・判断・表現	c) 資料活用の技能	d) 知識・理解
・中世の国家・社会の変容について、関心をもって追究しようとしている。	・中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。	・中世の国家・社会の変容について、関連する資料を的確に選択し、多面的・多角的に考察している。	・中世の国家・社会の変容について、その影響や特色等を理解している。

6 単元の指導計画

時	学習内容・学習活動	評価の観点				評価規準
		a	b	c	d	
1	○鎌倉幕府の滅亡 ・当時の鎌倉幕府の体制を確認し、倒幕の背景について考察する。	○				・鎌倉幕府が崩壊した背景について、追求しようとしている。
2	○建武の新政 ・後醍醐天皇の実施した新政を理解する。				○	・後醍醐天皇の新政と当時の社会情勢を比較している。
3 4 (本時)	○南北朝の動乱 ・南北朝の発生とその背景について考察する。	○	○			・天皇家の対立に加え、幕府内の対立が起こった要因について、考えようとしている。
5	○室町幕府 ・室町幕府の政治機構と各地を支配する守護大名について理解する。			○		・室町幕府の組織図、全国の守護大名が支配する領域を資料を活用して、理解しようとしている。
6	○東アジアとの交易 ・東アジアとの交易について、国際情勢と関連させて理解する。				○	東アジアとの交易がもたらす利益と交易することの意義について考えている。

7 本時の学習

(1) 本時の目標

鎌倉時代から室町時代にかけての武士や社会の変容について、多面的・多角的に考察し、他者と意見を共有することができる。

(2) 本時の展開

○記録に残す評価

●指導に生かす評価

段階	学習内容・活動	指導上の留意点	評価基準・方法
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容の確認。 ・本時の流れと目標を確認。 		
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・武士として求められる資質とは、忠義か裏切りかを考える。 ・鎌倉時代から室町時代にかけての出来事について、武家(武士)にとってプラスに働いたもの、マイナスに働いたものという基準でグループに分かれて分類する。 ・各グループの分類を全体で共有する。 ・グループで武士として求められる資質について、意見を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えロイロノートに提出してもらい、クラス全体で共有する。 ・各班で協力して、各出来事を復習しつつ、武家の視点、公家の視点などで考えさせる。 ・必ず分類した理由をグループ内で明確にさせる。 ・各グループの分類を全体で共有し、その理由について、各班から発表してもらう。 ・分類分けのグループワークで内容を踏まえて、改めて忠義か裏切りかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループワークの趣旨を理解し、主体的に取り組んでいるか生徒観察を行う。【関心・意欲・態度】
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業を振り返り、感じたことをロイロノートに記入し提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初に提示した目標やグループワークを通じて、考えたことを記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の授業内容を踏まえて、自分の考えを再構築し表現できる。【思考・判断・表現】